

## ～ [ ALL FOR ONE ] ～

15日(月)は親子進路学習会を開催しました。毎年恒例の行事ですが、この会が終わると急に「入試」や「卒業」が現実味を帯びて、一日一日の過ぎるスピードが急に速くなり、あっという間に卒業式を迎えてしまった、という感覚になります。何気なく過ごし、いつまでも続くかのように思っていた中学校生活も終わりが見えてきました。

進路学習会の冒頭で挨拶の機会をいただきました。諸事情で当日おいでいただけなかった保護者の皆様もいらっしやいましたので、ここで再度書かせていただきます。幾分かびしいことを書きます。しかしそれは3年生の対応力、精神力を信頼しているからに他なりません。



☆共通テストが終わりました。結果を見る限り、3年生が本気になって受験勉強に取り組んでいるとは思えません。もちろん数人の生徒は、目標を持ち、一日一日身を削る思いで受験勉強に取り組んでいることでしょう。しかしこれが学年全体の雰囲気にはなっていないように思います。

☆受験は団体戦です。全員がレギュラーとして出場するチーム戦です。団体戦の勝負を支配するのは「空気」「雰囲気」です。「受験勉強なんて……。それより毎日楽しく、愉快地に過ごしたい。」そんな気持ちが分からないわけではありません。再び還らぬ中学生時代ですから。しかし、何事もけじめが必要です。切り替えが大切です。楽しい、楽しい、だけのクラスはやるべき時、つまり授業前の2分間の集中時間、自習時間等でも私語が収まらず、緊張感が失せてしまいます。その結果、共通テストでは目標を超える点数をとれたのに、受験本番はだめだった、ということにつながります。周りを見渡すと、鬼気迫るオーラを放ちながら授業に参加している生徒がいるはずですが、今の時期の受験生とはそれが普通なのですが、そんな友達を見て、「この子は頑張っているな。」と思ったら、決して学習の妨げにならないように、私語を慎む等の思いやりの行動をとってほしいと思います。そして「やっぱり俺も頑張ろう。」となってほしいと思います。受験前のクラスは「ONE FOR ALL. ALL FOR ONE.」でなくてはなりません。先日の合唱コンクールでは1, 2年生に深い感動を与えてくれた3年生です。これができないわけは

ありません。その気になれば簡単なことです。卒業までの4ヶ月、緊張感のある、いい思い出をつくってほしいと思います。

☆進路指導の那加野先生からお話があったと思いますが、受験事務は絶対にミスが許されません。学校でもダブルチェック、トリプルチェックの態勢で臨みますが、保護者の皆様におかれましても、書類等をよく読まれ、特に提出物等がありましたら、締め切り日に出すのではなく、余裕を持って出されるようにご協力をお願いします。また子どもさんにも学校からの書類はその日にカバンから出すように習慣づけをお願いします。1日の遅れが生徒の一生を台無しにする場合もあるのが受験事務です。

☆「親の一言は教師の千言に優る。」です。保護者あっての子ども達です。よろしくをお願いします。

## ～ [ 頑張れ！生徒会 ] ～

生徒会の活動が本格化してきました。月曜日には生徒集会が開催され、専門委員会からタブレットの使い方、K GK (鹿南学力向上テスト) の実施、自転車の安全点検について連絡がありました。鹿南中では授業態度コンクールも実施されていますが、これについては1年生の点数よりも、2年生、3年生の点数が低いという「ねじれ現象」が起きています。結果発表を校内放送で聞く度に2, 3年生にプライドはないのか！と思っている最中です。いい意味で模範になる3年生であるべきです。それが学校です。3年生は1年生より大人なので、それは当たり前のことです。

生徒会執行部の生徒達が今朝から挨拶運動を始めました。特に執行部としては「校門一礼」の呼びかけをしていました。



校門に入るときに、学校に一礼することによって、この瞬間に鹿南中生としての「スイッチ」を入れ、夕方、校門を出るまでは鹿南中生として当たり前の行動をしてほしいと思います。

早朝の挨拶運動も輪番制ではなく、今日はいつもより早く目が覚めたから早めに家を出て、挨拶運動に参加してみようという「挨拶ボランティア」で参加してみても全く構いません。一人一人の小さな変化が鹿南中全体を大きく変貌させます。皆さんの協力を待っています。個人でも友達同士でも構いません。細き流れも大河となる、です。